

# 日本建築学会北海道支部 2006 年度第 4 回常議員会議事録

記：星

日時：平成 19 年 3 月 9 日 18:30～21:00

場所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席：支部長：絵内

常議員：小篠、田中、齊藤、鈴木、深澤、星、溝口

代議員：武田

総務委員会委員長：羽山

ホームページ管理委員会：十河

事務局：菊地

## 配布資料

|                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| 前回（2006 年度第 3 回常議員会）議事録(案)         | 資料 4 -1  |
| 理事会・支部長会議報告（支部長より）                 | 資料 4 -2  |
| 2006 年度決算見込みについて及び 2007 年度予算編成について | 資料 4 -3  |
| 支部事務所移転について                        | 資料 4 -4  |
| 支部選挙管理委員について                       | 資料 4 -5  |
| 特別講演会報告について                        | 資料 4 -6  |
| 環境工学専門委員会及び構造専門委員会主催講演会について        | 資料 4 -7  |
| 2007 年度支部特定課題研究委員会について             | 資料 4 -8  |
| 2007 年度建築文化週間について                  | 資料 4 -9  |
| 北海道支部功労賞について                       | 資料 4 -10 |
| 支部ホームページについて                       | 資料 4 -11 |
| 北海道支部技術振興賞（仮称）について                 | 資料 4 -12 |
| 鹿ノ谷保存要望書について                       | 資料 4 -13 |
| 後援依頼について                           | 回覧資料     |

（社）北海道建築士会より「建築士のための指定講習会」

司会：小篠

議事内容

- 1 前回（2006年度第3回常議員会）議事録の確認（齋藤／資料4-1）
  - ・修正無し
  
- 2 本部理事会・支部長会議報告（支部長より）（絵内／資料4-2）
  - 10月理事会（10月11日）報告
  - ・全国建築系大学連絡協議会（案）の設立趣旨について  
一級建築士の資格要件変更（大学院は実務経験に参入せず）の動きへの対応のため本協議会を設立
  - ・福岡支所の新設について  
支所は離れたところに置くのが原則だが、会員サービス向上等のため支部のある福岡県にも支所が置かれた
  
- 3 2006年度決算見込みについて及び2007年度予算編成について（羽山／資料4-3）
  - ・資料4-3の報告  
決算見込みとしては、収入は97%超、支出は予算の98.7%と想定  
結果、次年度繰越金は予算より16万ほど少なく、113万ほどの見込み  
次年度交付金は15万ほど減額  
ほか、次年度予算においては、事業費、人件費の削減、会員増強、調査研究受託など課題がある
  
- 4 支部事務所移転について（羽山／資料4-4）
  - ・移転日程が確定・・・3月28日
  - ・移転先・・・北海道建設会館
  - ・移転費用・・・約24万（退去時の修繕、引越し、入居時の改修等）
  - ・移転費用は、とりえず繰越金（予定）から支出しておき、2007年度総会議決で基金取り崩しにより補填
  - ・支部会員への郵送による案内は行わない
  
- 5 支部選挙管理委員について（小篠／資料4-5）
  - 次の5名で決定  
菊地 優（北海道大学）  
齋藤文彦（ドーコン）  
羽山広文（北海道大学）  
深澤幸子（SAアーキテクト）  
星 卓志（札幌市）
  
- 6 特別講演会報告について（絵内／資料4-6）
  - ・47名参加で非常に好評であった
  
- 7 環境工学専門委員会及び構造専門委員会主催講演会について（資料4-7）
  - 環境工学専門委員会からの報告（羽山、絵内）

環境工学系・卒業論文発表会(3/2) 35名参加・・・大きな成果があった  
構造専門委員会講演会の申請 (小篠)  
講演会(19年3月20日) 「ひび割れを念頭に置いたRC造の設計」・・・承認

8 2007年度支部特定課題研究委員会について (小篠/資料4-8)

- ・ 「JASSにおける寒冷地工事仕様の対応調査研究」の申請あり・・・承認

9 2007年度建築文化週間について (小篠/資料4-9)

- ・ 次の2つの企画が出されている
  - 「函館の歴史と歴史的建造物を探訪する」
  - 「津波防災まちづくり体験学習」
- ・ ほかに北海道建築賞の受賞講演会の企画もある
- ・ 基本的には了承する方向だが、一件8万を目安として内容と予算の精査を依頼

10 北海道支部功労賞について (小篠/資料4-10)

- ・ 長年に渡って法人会員になっている企業を対象
- ・ 明文化はしていないが、過去には30年間会員であった企業に贈っていたことから、今回も同様に扱う
- ・ その結果、今年度は、札幌日総建の一社に贈ることとする  
(参考までに次回は2009年度賛助会員札幌建築デザイン専門学校、その後2011年度法人会員北電興業の予定)

11 支部ホームページについて (十河/資料4-11)

- ・ できるだけ多くの情報を掲載したい
- ・ 基本的には、建築雑誌に掲載された情報を出していきたい
- ・ このため、建築雑誌に出す原稿を自動的にHPに載せるシステムとしたい
- ・ これまで事業の「案内」は出していたが、「報告」は少ない これを充実させる仕組みの検討が必要
- ・ 活動の掲載が停滞している委員会があるので、積極的な対応の働きかけを行う

12 北海道支部技術振興賞について (絵内/資料4-12)

- ・ 支部の活性化、会員増強及び北海道の建築界の技術向上への貢献を目的に、本表彰制度の創設を提案
- ・ 審査方法、周知方法などの工夫などが必要だが、創設の方向で検討を継続する

13 鹿ノ谷保存要望書について (小篠/資料4-13)

- ・ 後藤市長あての要望書は、文末を修正したうえで出すことについて了承
- ・ 高橋知事あてには、支援を頼むなどの内容とすることで出すことを了承
- ・ 文案の調整は幹事会にまかせる
- ・ 支部常議員了承 提出 本部理事会へ報告 HPへ掲載

14 後援依頼について 回覧資料

(社)北海道建築士会より「建築士のための指定講習会」・・・了承

次回常議員会 4月24日